



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎ (095) 822-0680 FAX (095) 824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」
～経営を極めていく企業家集団 会勢730名を達成しよう～

第29回 中同協役員研修会 開催!!

(兼 第11回九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会)

日時：5月25・26日(木・金) 会場：長崎インターナショナルホテル

第1講 同友会運動の歴史から何を学び、
継承発展させるのか

講師：中同協顧問 国吉 昌晴 氏

第2講 同友会運動の発展のために、同友会理念に基づく
企業づくり・学べる組織、減らない組織、増える組織をめざして

講師：中同協幹事長 (株)ヒロハマ 会長 広浜 泰久 氏
中同協・5万名推進・組織強化本部長

第3講 地区・支部役員の役割は何かー同友会で何を学び、
どう実践するのかー同友会のリーダーの使命ー

講師：中同協会長 (株)エステム会長 鋤柄 修 氏
中同協・中小企業憲章・条例推進運動本部長

大村支部 宇土 敏郎

2回目の役員研修会参加でした。

まず第1講、国吉顧問から「同友会の歴史」を話していただき、今迄の同友会の生き様に触れることができました。先人の自社を守るために、社会変動を見極め、労使関係を見つめ直し、社員と共に成長すべき中小企業のあるべき姿の理由が明確になりました。

第2講は広浜幹事長から「同友会理念の自社での実践」をお話いただき、具体的な例を確認できました。

第3講の鋤柄会長の「地区・支部役員の役割」について



では、自分の置かれている恵まれた立場を理解できたことと、この恵まれた環境をより多くの会員と共有すべき中での役割について考えさせられました。

この2日間で考えさせられたことは、

①県の委員長として、経営労働委員会が何をなすべきかをもう一度考えることの重要性を教えていただきました。

②また、各委員会、支部との連携を行い、会員に喜ばれる会の運営を目指すことも考えさせられました。

まずは、経営労働委員会の活動の活性化を各支部委員長を盛り立てて推進していきます。

最後に役員研修会と名が付くだけにグループ討議の

目次

第29回 中同協役員研修会 開催報告	1	復会会員紹介	14
5月例会・総会報告	3	事務局企業訪問	15
諫早支部 産学連携委員会		7月例会案内	16
『長崎ウエスレヤン大学 保護者会懇談会』参加報告	11	理事会議事録 抜粋	17
第8回 景況調査 結果報告	12	会員消息・会員数	18
会員活躍	14		



内容もレベルが高いです。でも、参加してみると心地良いものです。経営者としての生き様を高い次元で体



験できる役員研修会は皆さんも是非一度は参加して下さい。

諫早支部 時 寛

同友会に入会させていただいてから、まだ一年足らずではありますが、支部共育委員長を拝命し、そのおかげで今回非常に有意義な役員研修会に参加することができて、感謝しております。

1日目第1講の国吉顧問の同友会の歴史からは、戦後復興からの時代背景と共に、現在にいたるまでの変革や思いを伝えていただきました。時代が変わろうともその「志」は今にしっかりと引き継がれている事に感銘を受けました。そして、金融アセス法等の例から、志があれば国を動かすことができる！同テーブルにその活動の中心であった中同協副会長 中村さんがいらっしゃったので鳥肌モノでした。

1日目第2講の「同友会運動の発展のために、同友会理念に基づく企業づくり」のテーマで、広浜幹事長が報告されました。その中の労使見解のお話で、その考え方や実際に取り組まれた事なども赤裸々に話されていましたが、最悪の状況から現在にいたるまで、信念を持って「本気」で行動されてきたのであろうと推察いたしました。同友会で学んだことを自社に継続的に反映させ続けることによって、労使関係も良好なものが築け、会社の発展に繋がるものだ改めて感じました。

二日目第3講の「同友会リーダーの使命」では、鋤

柄会長の講演を聞かせていただきました。裏表がなく真っ直ぐで時には厳しく、そしてどこかあたたかいような鋤柄会長の人柄が滲み出た、非常に良いお話でした。

経営理念を抜粋させていただきますと「自然環境の創造を通じて社会に貢献します」とありますが、次のステップを見出した会社を辞めていく社員に対しても、それが理念に伴っていれば喜んで送り出すところなど、理念を通して末端の社員の人格形成までに責任を持っておられると感じました。同友会の目的は「生き様」を学ぶことという言葉、響きました。

今回の研修に参加させていただいて、他県の方とも交流、意見交換、討論できたことも含め、非常に実りあるものになりました。ありがとうございました。



同友会事務局 田口 友廣

1日目第1講では国吉顧問より歴史を中心に報告いただき、同友会運動は過去の歴史の積み重ねがあって今があることを改めて確認、歴史に学び、今と未来を考えることの大切さを学びました。そして理念がぶれることなく継続しつづけることで維持・発展ができること、組織が大きくなればなるほど謙虚になる大切さ、事務局はセンター機能として先進事例を拡げることが

大切ということ、金融アセスメント法の制定の提唱が90年代の同友会運動の到達点であることなど、様々な事例と歴史をもとに、何が大切であるかということを整理することができました。

第2講の広浜幹事長の報告では、三つの目的のひとつひとつの意味の深さを知ることができるとともに、科学性の大切さを改めて感じました。数字でモノをいう癖をつけるということは、以前に広浜幹事長の報告を聞いた際にも、気をつけなければと思っていたにも



かかわらずおろそかになっており、これからの実践を心がけたいと反省しました。そして同友会には強靱な企業作りのための財産・ツールがあるので、それを会員に発信していくことが大切であり、事務局としても取り組まなければならないことであると改めて確認できました。

2日目第3講では、鋤柄会長より役員の役割と実践の事例などを交え報告いただきました。報告はユーモアを交えながらも厳しさがあり、身が引き締まる思いで拝聴しました。

報告のなかで同友会は「いろいろな人との付き合いから、生き様を学べる場所」という言葉を聞き、私自



身も会活動で多くの方にお会いする機会がありますが、その出会いをひとつひとつ大切にするとともに、お会いする方から多くのことを学ばせていただきたいと思います。

またグループディスカッションや質疑応答でも挙げられたこととして、リーダーとして新たな取り組みをする際には、あれこれ考えるのではなく、とにかく「決断」してどうすれば達成できるか考え「実践」することが大切だということを学びました。

今回の役員研修会で学んだことを実践し、事務局として会活動の発展に寄与できるように取り組んで参ります。

長崎浦上支部 例会報告

日 時	5月16日(火) 18:30
会 場	長崎新聞文化ホール アストピア
テ ー マ	ナンバー2からトップへの覚悟
報 告 者	(株)彩 装建 代表取締役 小川 悟 会員

真面目で一所懸命。報告者の小川さんの人柄がにじみ出る素晴らしい例会となりました。

小川さんは長崎くんちの龍踊りとの出会いが今の自分の成長に繋がっていると語ります。非常に厳しい稽古をともに経験した仲間との間にできた強い絆。人との、また地域との深い関わりは自分の宝だと言い切り



ます。自分の成長、自分の宝に繋げることができたのは、真面目で一所懸命、何事にも真剣に向き合う小川さんの人柄がそうさせたと思わざるをえません。



同友会との出会いは経営者としての成長に繋がりました。三つの目的、特に「よい経営者になろう」という言葉に共感し入会します。この会に入れば自分は変われると思ったそうです。経営指針の勉強会に参加し自社の経営理念を作り、日夜その実現に頑張っているようです。その小川さんが考えるトップとしての覚悟は1. よい経営者を目指し、同友会活動に参加する。2. 地域との関わりを更に深め、奉仕する。これまでの小川さんの生き方をよく表している言葉ですし、これからより磨き上げられる小川さんの姿を想像させてくれる言葉でもあります。

グループディスカッションは「あなたの考える『よい経営者』とはどのような経営者ですか?」をテーマに進められました。今回は昨年11月に開催したグループ



長勉強会で学んだことを活かすためG K B Rシートを使って討議を深掘りしていきました。グループ発表でまとめられた主な意見は以下の通りでした。

よい経営者とは①社員さんを同じ道を歩む同志と位置付ける。②課題への判断力と決断力、雇用を守る。③社員さんを信頼しパートナーと考える。④税金はきちんと支払う。ビジョンを共有し、社員さんが楽しく働ける環境づくり。⑤利益を出し、会社も社員さんも経営者も満足できる組織づくり。

しっかり学んだあとは楽しく懇親を深める。浦上支部の真骨頂「楽しすぎる懇親会」で本日の学びを締めさせていただきます。

(文責 山崎 功)

長崎出島支部 例会報告

日 時	5月24日(水) 18:00
会 場	水辺の森のワイナリーレストラン OPENERS
テ ー マ	食の安全で世界を狙う ～アレルギー対応・無添加ピザの開発～
報 告 者	(同)HRC 代表社員 安井 忠行 会員



安井さんはアルバイトで入ったピザ店で店を任せられる事となり、その後(同)HRCを設立しZAC本部を運営しながらZAC長崎中央店で自らピザを作っています。

お子さんに乳製品アレルギーがあり、好きなものを食べられないという事、なんとか自分の作ったピザを食べてもらいたいという想いからアレルギーに対応するピザの開発に着手します。大学との共同研究や商品開発を経てアレルギー対応のピザが完成するのですが、自らの経験と知識を生かし短期間での商品化が



出来たとの事でした。日々ピザを手作りしている安井さんだからこその結果ではないでしょうか。

現在の社会問題として先進国の食物アレルギーは深刻となっており、今後アレルギー対応の市場が右肩上がりとなるのは必至です。使命感だけではなく将来の展開や今後の市場にも着目しており、世界へ向けてアレルギー対応ピザを発信して行きたいとのことでした。また、食物アレルギーの対象品目や症状など詳しく説明もありました。安全に機能性をプラスしたピザの開発に加え長崎の県産品を使っていきたいとの思いもあります。

お仕事の他にも「NPO法人長崎バリアフリー推進



協議会」の理事長もされており、長崎にバリアフリーを整備して安心して外出できる街にしたいとお話しい

ただきました。食に対する熱意だけではなく地元愛を感じられる報告だったと思います。

グループディスカッションでは「あなたの会社の事業で社会貢献になっている事はなんですか?」というテーマでディスカッションしていただきました。雇用や会社の継続が社会貢献であるというグループ発表に会場全体が傾きながら聞き入っていました。

本例会では想いを形にする安井さんの熱意と行動力、そして時代に合った展開に沢山の学びがあったと思います。

(文責 伊藤 弘和)

大村支部 例会報告

日 時	5月15日(月) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	同友会で学んだ経営者の覚悟 ～危機を乗り越え、真の経営者へ～
報 告 者	(株)浮羽園 代表取締役 生野 信一郎 会員



大きな4つの危機的状況、事故・資金繰り・人事面の問題・本人の病気を乗り越えた経営者の覚悟を学ぶことが出来、大変考えさせられました。

常に後手に回っているとの事でしたが、それを感じ取り、修正出来ていることは素晴らしい事だと感じます。大体的場合は、感じる事も出来ず、気づいた時には手遅れが通常の社会にあって、そこを素早く感じ取れる意識の高さは、まさに同友会で学んだ事を実践しており、また、それからの対応も事態を真摯に受け止めているからだ、その素直な学びの姿勢を見習いたいと思います。

さらに根本にあるのが、家族のため、社員のためと周りの幸せのためであると聞き、社内でも、慕われている経営者像を感じました。

きっかけとして経営指針を作り上げた事が、その始まりと知り、同友会が支えだった事が感動でした。同

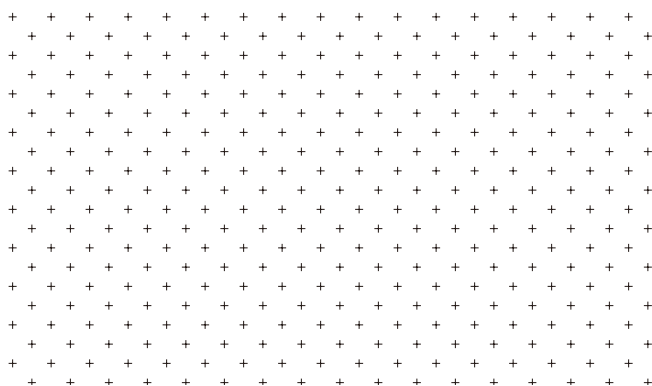


時に、自分を振り返って考えると、危機感の無さ、感じる事の遅さ、未だ修正も出来ていないところを強く感じ反省させられました。

経営者の覚悟のレベルには、ほど遠いように感じます。しかし、感じたところが、新たな学びをはじめていくスタートだと信じ、いいきっかけにしていきます。

淡々と語る生野さんからは、人に言えない危機を乗り越えたからの余裕と落ち着きを感じ、同じ同友会の仲間として、ともに学べる喜びを感じた報告でした。ありがとうございます。

(文責 粕 穂隆)



諫早支部 例会報告

日 時	5月17日(水) 18:30
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	生業(なりわい)から企業へ… ～大変とは【大きく変わる】という事～
報 告 者	村上彫刻 副代表 村上 敦子 会員(佐世保支部)



村上さんの元気の源は、母親と2人暮らしの生活をされていたころの母親からの言葉です。「何があっても逞しく生きなさい!」この言葉を自分の理念として生きてこれ、その後地元企業に就職をされ男性にも負けない仕事ぶりを発揮されていました。

そんな時ご主人と出会い、ご結婚されご主人の家業である村上彫刻に就職。経理を担当されていましたが、下請け80%の受注体系に不安を感じ、ギフト関連の仕事とパートの雇用を提案するもご主人や業界もその危機感はなく、意見が対立したため1人で奔走していましたが病に倒れてしまい断念。しかし、その後予想は的中し売上げが激減、貯金を切り崩しながらの生活へ。そこで、どうにかしなければとの思いで同友会の



例会に誘っていただき参加したことで再び元気を取り戻します。「120%の仕事をしなさい」「行動してみること人生は開ける」「大変とは大きく変わる事」など同友会で教わったことを励みに新規事業(刻印骨壺)を立ち上げます。しかし、再度ご主人と意見が対立し、また悩む事に…。そんな環境の中、同友会のある報告を聞いた時「ありがとう」という言葉に感動。ご主人やご家族、周辺への感謝の気持ちが足りなかった事に気付かされ、原点に立ち返りご主人と共に新しいスタートを切りました。経営理念を「みんなが喜ぶものづくり」と掲げ、経営計画発表会を毎年開催、従業員も今年4名になり益々右肩上がりの成長を遂げられています。これからは「共に考え、共に成長し、共に喜ぶ組織作りを目指します」と明るく元気な村上さんは、何があっても逞しく生きていかれることでしょう。

私も、ものづくり業として常にリスクを感じ、常に考え、常にチャレンジすることを忘れないように逞しく生きていきます。

(文責 張本 洋二)

島原支部 例会報告

日 時	5月19日(金) 19:00
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	「経営指針成文化と実践の手引き」を使った勉強会
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員(大村支部)

『経営指針成文化と実践の手引き』を使い説明、解説をしていただきました。宇土さんが経営コンサルタントをされていて気付かれた事は、事業計画・事業承継のやり方がバラバラであり上手くない会社が多く、長崎同友会でも経営指針を作られて活用されている会社は多くはありません。毎年毎年会社が成長して、強靱な経営体質をつくらないといけません。その



為にも会社が明確な羅針盤を作る必要があります。その羅針盤が経営指針であり、わかりやすくマニュアルが成文化されて、手引きとしてあるのが実践の手引きです。



今回は島原支部の為に、経営指針作成例を架空人物（長崎太郎）が、『日本料理こだわり』を東京から帰省し島原（和食、創作料理店）で開業すると言う設定で、経営指針を作っていただきました。宇土さん自身は料理は作られたりはしないそうですが、経営指針成文化と実践の手引きを使い【（自社の歴史と自分の歩み）検討シート】どんな思いでスタートしたのか、【経営理念検討シート】何のために経営をしてるのか、決意、思い、役割、人生観、取引先、顧客、社員、地域に対する基本姿勢をまとめて、経営理念『日本食は素晴らしい伝統です、素材に感謝し、素材の力を最大限引き出しお客様の笑顔が満ち溢れた「食」を演出しますそのために食のプロとして日々努力を惜しみません』と『日本料理こだわり』のこだわりが伝わります。

【10年ビジョン検討シート】10年後の自分、【日



本料理こだわりの存在価値が確立してる】小さくまとまらず、大きい目標を持って、10年後のありたい姿を描かれていました。

【経営方針検討シート】をつくるために、【外部環境分析シート】【年齢構成・推移表】【自社事業分析シート】【SWOT分析】【クロスSWOT分析】が必要だそうです。【経営方針】これが出来ると会社の進むべき方向がみえてきます。

《中期経営計画》《中期利益計画表》《キャッシュフロー計画表》は時間無く掘り下げは出来なかったのですが、例会に参加したメンバーが、何人も経営指針を作りたいと声が上り、本当に刺激を貰えたいい例会でした。

（文責 北尾 新）

佐世保支部 例会報告

日 時	5月19日(金) 18:30
会 場	アルカス佐世保
テ ー マ	地方創生、雇用を生み出す魅力ある企業と街づくり
報 告 者	佐世保市役所担当課の皆様 (株)智翔館 代表取締役 直江 弘明 会員



佐世保市役所から12名のゲストを迎え、78名で5月例会を実施しました。

まず、最新の同友会景況調査より経営上の問題点上



位二つが「人材確保」と「社員不足」であり、これからの重点項目も「人材育成」と「人材確保」であるという報告と本日の進め方を説明。次に、①新規雇用を増やすアイデア ②女性の再就職、再雇用と活躍しやすい企業 ③新卒、第二新卒、中途採用の募集および共同求人 ④新現役（退職者、シニア人材）の採用 ⑤社宅としての公営住宅、空き家の活用、の小テーマに関して、政策経営課より「総合計画」「まち、ひと、しごと創生総合戦略」、地域政策課より「移住の取組み」、人権男女共同参画課より「女性活躍推進の取組み」、基地政策局より「退職自衛官の取組み」、住宅課より「市営住宅の



取組み」、都市政策課より「空き家活用の取組み」、商工物産課より「企業説明会等の取組み」の報告。その後、付箋に書き出したそれぞれのアイデアをもとに、各テーマをディスカッションして具体的な方策をまとめ、全11グループの発表を行いました。

人材に関する市役所の様々な部署からの報告は、初

めて知るものも多く大変興味深いものでした。報告の後に各グループに参加していただいたことと、批判しない、否定しない、傾聴、承認して、協力する、というルールの中で、より具体的な視点の変わった面白いアイデアがたくさん出てきたようです。時間を途中で区切るのが本当にもったいないくらいの熱く活気あふれるディスカッションと発表でした。

懇親会にも多数参加いただき、グループ発表の支部長表彰や出てきたアイデアの話で盛り上がりしました。定例行事にしたいという声がたくさん上がり、市役所職員、ゲストの皆様、会員共に大満足の例会となりました。次回は実践できる具体案を作成します。最後になりますが「官民創論」のアイデアをいただいた大村支部に感謝します。

(文責 直江 弘明)

北松浦支部 例会報告

日 時	5月17日(水) 18:30
会 場	サンパーク吉井
テ マ	(有)フォーワンの過去と5年計画！
報 告 者	(有)フォーワン 代表取締役 松瀬 久一 会員



創業17年(有)フォーワンの今までと、5年計画を報告。まず、はじめに(有)フォーワンの創業から現在までの会社の歴史をお話いただきました。創業期から電気の制御盤や設計を中心とした事業は順調に行き優秀な社員を一人雇用できるまでになり創業から8期目には売上3,000万円をあげることができました。

しかし、9から10期目にこれまで一緒にやってきた優秀な社員が退社し、さらに主要取引先から取引を停止され、非常に厳しい経営状況に陥りました。

しかし、木チップを燃料とするバイオマスボイラーとの出会いと、13期目ごろから機械もできる会社と



して再出発ことをきっかけに経営状況を好転させることができました。売上は13期1千万、15期5千万円、16、17期は4千万円。

会社のビジョン

「機械メーカーとして世の中に認識される会社を作る」

行動指針

「フォーワンに頼めば楽！」と思っていただく

「お声掛けください。工場設備の便利屋です！」

経営方針5年目標

- ・技術者集団・組織作りを充実させる
- ・5年で社員4人体制とする。
- ・5年後の売上は8千万円を目指す。

会社の強み

- ・特殊な電気ヒーターの熱容量計算から設計・販売が可能
- ・機械設計・制御盤の設計製作が自社でできる
- ・温度調節器メーカー代理店
温度調節器1個の販売も代理店価格で、しかも改造使い方の指導なども可能



経営戦略・営業戦略

- 営業の強化！（強みを生かす！）
- 社員が中心になって、仕事をこなす体制に、シフトしていかなければならない
- できるだけ早くリーダーとなる技術系社員を増やす。（教育する。）

目標

22期終了時 社員4名以上売上8,000万円以上の会社を目指す



感想

バイオマスボイラーをはじめ、これまで開発・納品した沢山の機械を紹介していただき、フォーワンのアイデアの豊富さと技術力の高さに、報告を聞いていた会員全員が非常に驚いていました。松瀬さんの真面目さが伝わる素晴らしい報告でした。松瀬さんありがとうございました。

（文責 吉田 大）

五島支部 例会報告

日 時	5月17日(水) 18:30
会 場	観光ビル はたなか
テ ー マ	他人(ヒト)を活かしたければ自分を見よ！
報 告 者	(有) 壽物産 代表取締役 永吉 誠 会員(島原支部)



今年度最初の例会は島原支部より永吉誠さんをお招きしました。島原支部からは本多さんに引き続き連続での報告でした。ありがとうございます。

報告依頼に当たり五島支部会員の要望に多くあった「社員を活かす経営報告」、「成功事例ばかりではなく失敗した体験を聞きたい」の旨をお伝えしたところ快くお引き受けしていただきました。

さて、いざ報告開始…まさに衝撃的(過激)なスタート…果たしてどうなるのでしょうか？このような例会



があって良いのか？と考えつつも、わたくしの目は丸々と見開き、喉をゴクリと鳴らしておりました。

永吉さんは若い時から様々な職種を経験され、20歳にはそれまでのノウハウを生かし店舗を経営するまでに至ります。

社員の妬みや、裏切り行為等紆余曲折を経て現在に至ります。報告の中には「人材・人財・人罪」「就業規則の明確化」「労使見解と社員共育」「経営理念」等々これまでに学んできましたキーワードが多く取り上げ

られておりました。「情報量が多く、スピードについていけなかった」という感想も出ておりましたが、永吉さんの情熱・経験をお伝えするにはあまりにも短い報告時間だったのかもしれません。

グループディスカッションは「社員を活かすための問題点は？また、今後の課題は？」のテーマのもと進められましたが、参加者は社員との接し方や給与、休暇、責任の持たせ方等多くの悩みを語り合っていました。

例会には県仲間づくり委員会より西山委員長、庄司副委員長、座長を務めていただきました本多さん、永吉杏奈さんの参加もあり、大変盛り上げていただきました。五島支部会員の出席が若干寂しいところでしたが、五島支部例会は好スタートを切ることが出来ました。

(文責 谷川 喜一)

青年経営者会 総会報告

日 時	5月13日(土) 19:00
会 場	ホテルJALシティ長崎
テ ー マ	定時総会



会員12名、松尾代表理事、西村専務理事、中村出島支部長、青経OB、田口事務局員、そして北九州青年懇話会より7名、熊本同友会より1名の出席を賜りました。

第1号議案から第3号議案まで滞りなく審議、了承され、無事に総会を終了することができました。

今年度も、前年度に引き続き橋本会員が会長に就任し、2期目を迎えることとなりました。

今年度の青年経営者会は、前年度の活動実績を踏まえ、「挑戦・行動」、「勉強・実践」、「相談・指摘」、「貢献・幸せになる」、「大海に出る」という5つの方針で活動していくこととなりました。これは前年度の方針でもあった、県内外の青年経営者との交流や、お互い切磋琢磨できる環境づくりをしようという事をより実践的なものとし、「より一層会員間の関係を密にしよう」、「会員全員が幸せになれるようにしよう」、「経営者として成長できるよう頑張っていこう」という橋本会長の強い想いが形となっています。

また、ご出席いただいたご来賓の皆様方や、北九州懇話会、熊本同友会の皆様からも熱い激励を頂戴し、青年経営者会もお一層充実した活動ができるよう邁



進していきたいと思っております。

最後になりますが、今回ご出席いただいたご来賓の皆様、ありがとうございました。そして青年経営者会を卒業された川口圭典さん、これまで本当にありがとうございました。

(文責 吉川 裕也)

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

☐掲載/情報広報委員会にて選考

☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



諫早支部 産学連携委員会 『長崎ウエスレヤン大学 保護者会懇談会』参加報告

開催日時：5月20日(土) 会場：長崎ウエスレヤン大学



諫早支部産学連携委員会の活動も3期目がスタートしました。

今期の活動第一弾として、恒例となりました長崎ウエスレヤン大学の保護者会懇談会におきまして、同友会から講師を派遣することとなり、今回は佐世保支部顧問の村山隆之さん((株)長崎地研 代表取締役社長)にお話をいただきました。

講演テーマは「一病息災」、村山さんは36歳の時に心臓の病気にかかりました。当時、会社の第一線で活躍されていた村山さんが病気で不在となり、手術を終え退院して帰って来たときには、会社は仕事が激減。ピンチに立たされました。そんななか、下請中心から元請への事業転換を決意。そして、毎日早朝に出勤し、会社の清掃を自ら行う事を6年間続けられたそうです。トップが何事も継続してやりぬく事！を実行され、今では、朝、会社に行くと、社員がみんなで清掃をされているそうです。トップの決意と行動、そして継続することの大切さを学ぶことができました。

また、社会人になって身に付けて欲しい5つの事として、①知識 ②技術 ③資格 ④コミュニケーション能力 ⑤知恵の5つをあげられました。その中でも、④のコミュニケーション能力については、社会人として特に重要なスキルであるという事。人は色々な考え、思考を持っており、一人一人が必ずしも同じ考え、思考をもっている訳ではないという事。心にゆとりがなければ助言が苦言に変わり、心にゆとりがあれば苦言が助言に変わるなどをお話されました。中でも、会社には不平不満がある社員は辞める権利がある。という言葉には、社員から不平不満が出ないような会社にする事が社長(トップ)の役割であり、それが出来ない会社は奈落の底に落ちていくのだと気付かされました。



最後に、自分にとって「大変」なことに逃げずに挑戦する事。「大変」とは大きく変わる事であり、大きく変わるためには逃げずに挑戦する事が不可欠であるという事が、今回の講話を聞いての学びとなりました。

今回は、保護者会ということで、学生の保護者の方が多数参加されました。こうした経営者の生の経験談や学んできたこと、また社員に対する思いなどを聴ける機会はないのでしょうか。保護者の皆様にとっても何か感じ取るものがあつたのではないかと思います。

保護者会終了後は、留学生が中心となって開催されるイベント「メイフェスタ」にて、昼食と、イベントを楽しみました。

(文責 諫早支部 産学連携委員長 廣谷 慎也)

折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

第8回 景況調査 結果報告

長崎同友会では四半期に一度、独自の景況調査を行なっています。今回602名を対象に第8回目を実施し、213名から回答をいただきました（回答率35.4%）。今回は県政策委員会からの提案で、各支部の総会の際に時間を設け、未回答の方に回答をいただきその場で回収するという方法を採用し過去最高の回答率となりました。ご協力いただきありがとうございます。下記簡易分析結果をご報告します。

業種、本社所在地に関しては前回同様の回答結果が出ています。年商に関して第7回の景況調査では3億円未満までの企業が65.6%を占めていたが第8回では80.2%を占めています。

全体の景況観においては直前3ヵ月（2016年10月～12月期）の売上高、経常利益、業況判断は前回とほぼ同じ結果が出ていますが昨年同時期（2016年1月～3月期）との比較では売上高DI値9.4→16.9、経常利益DI値2.9→10.3、業況判断DI値▲5→3.7と大きく好転傾向がうかがえます。

同時に、次期見通し（2016年4月～6月期）を見ると売上高DI値8.7→20.2、経常利益DI値4.4→12.6、業況判断DI値▲3.1→8とこちらも大きく好転傾向がうかがえました。

この売上高、経常利益の大きな好転は資金繰りにも顕著にうかがうことができ、前回は「窮屈」の割合が7.5%に対し、今回は3.8%と約半減しています。

昨年同時期の経営上の問題点の上位は「人材確保難」「民間需要の停滞」「同業者間の価格競争激化」「社員不足」の順番でしたが今回の経営上の問題点の上位は「人材確保難」「社員不足」「同業者間の価格競争激化」「民間需要の停滞」の順番となっています。同友会の会員企業にとっての経営上の問題点は引き続き同じ傾向にあると言えます。

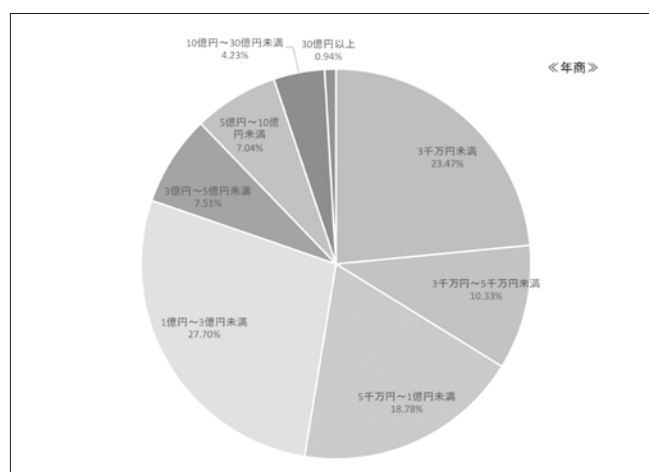
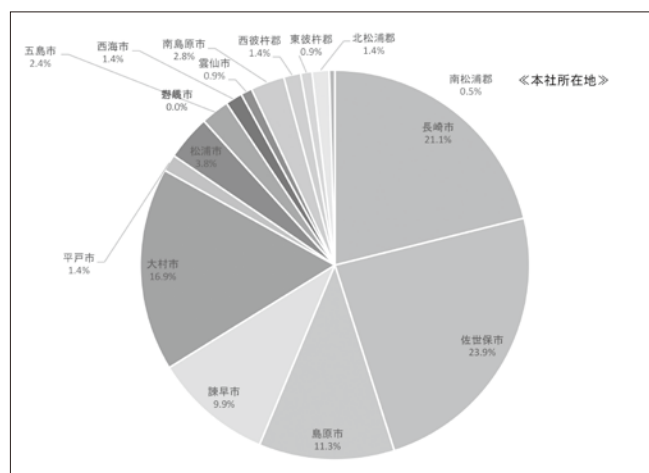
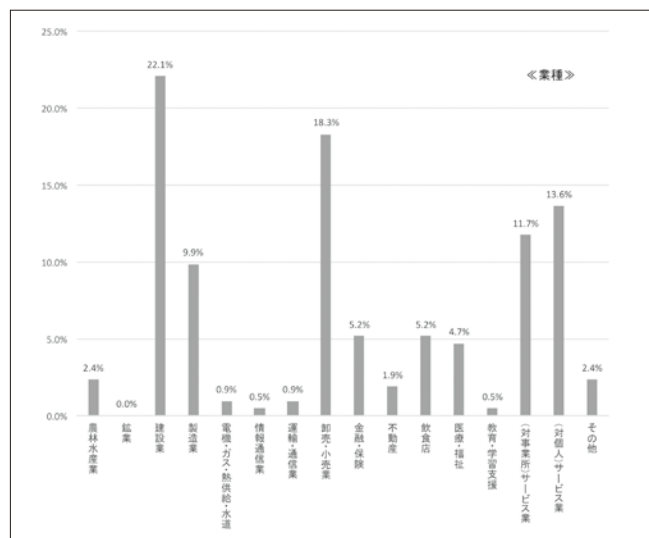
現在の重点項目、これからの重点項目に関してはどちらも「人材育成」となっており継続して人材育成に注力する会員企業の傾向がうかがえます。また前回の調査と比較し「新規顧客の開拓」の回答が増えており、「人材確保」とほぼ同じポイントになっています。

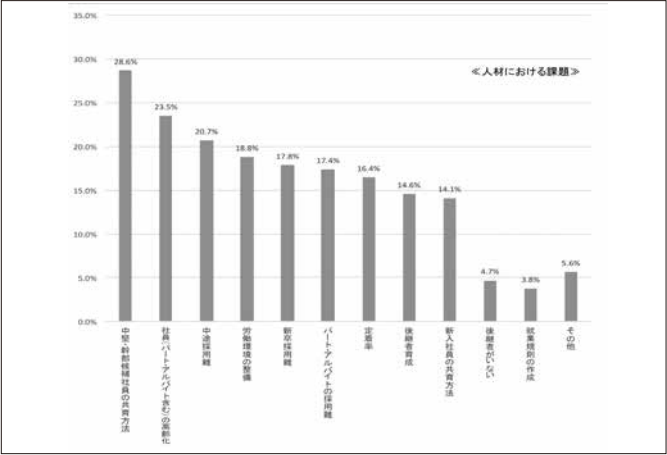
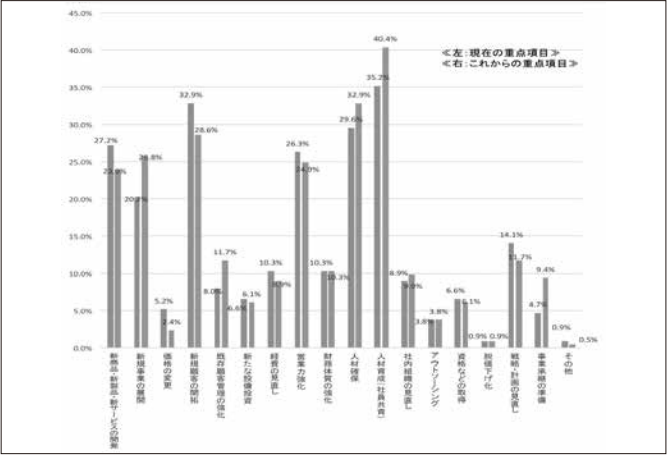
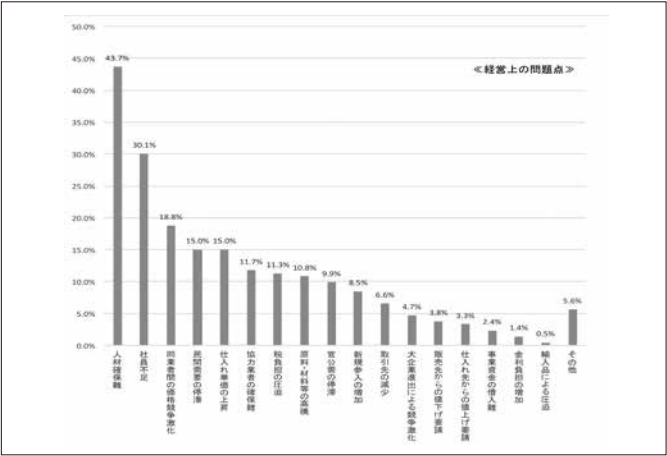
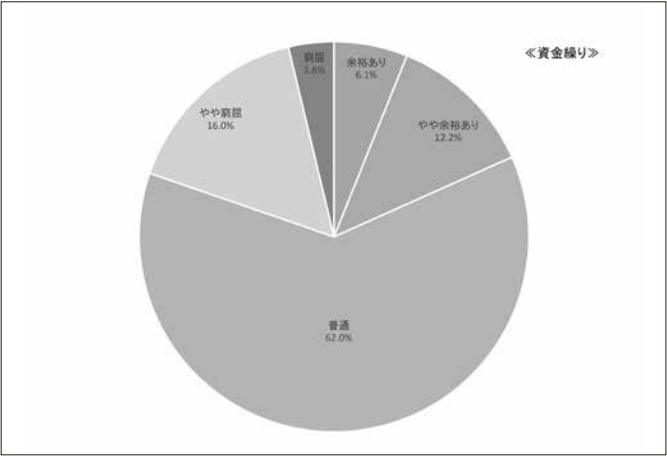
人材における課題については過去2回「中途採用難」のポイントが一番高かったことに対し、今回の調査では「中堅・幹部候補社員の共育方法」が大きく「中途採用難」を上回りました。「社員（パート・

アルバイト含む）の高齢化」は引き続き2番目に位置しています。

全体的に人材不足、社員共育に関する課題は根強く残るものの、売上高、経常利益、業況判断ともに大きく好転し、上向きにあることがうかがえた第8回の調査結果となりました。

（文責 事務局 峰 圭太）





＜感想＞

	2016年 10～12月期と比べて（直前3ヵ月との比較）			2016年 1～3月期と比べて（昨年同時期との比較）			2016年 4～6月期と比べて（次期見通し）		
売上高	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少
	31.0%	52.6%	16.4%	32.4%	52.1%	15.5%	31.0%	58.2%	10.8%
経常利益	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化
	23.0%	62.0%	15.0%	24.9%	60.6%	14.6%	22.5%	67.6%	9.9%
業況判断	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化
	15.5%	67.1%	17.4%	18.3%	67.1%	14.6%	21.6%	64.8%	13.6%

＜役員を含む正規社員数＞ 3,553 人

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人
4	133	37	11	5
1.9%	62.4%	17.4%	5.2%	2.3%
40～49人	50～59人	60～69人	70～79人	80～89人
3	2	1	0	4
1.4%	0.9%	0.5%	0.0%	1.9%
90～99人	100～199人	200人～		
1	5	2		
0.5%	2.3%	0.9%		

＜派遣、契約社員を含む臨時・パート・アルバイト数＞ 1,861 人

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人
73	106	12	3	8
34.3%	49.8%	5.6%	1.4%	3.8%
40～49人	50～59人	60～69人	70～79人	80～89人
0	2	0	0	4
0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	1.9%
90～99人	100～199人	200人～		
0	0	5		
0.0%	0.0%	2.3%		

＜全社員数（正規＋パート・アルバイト）＞ 5,414 人

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人
4	110	54	9	9
1.9%	51.6%	25.4%	4.2%	4.2%
40～49人	50～59人	60～69人	70～79人	80～89人
4	3	2	1	2
1.9%	1.4%	0.9%	0.5%	0.9%
90～99人	100～199人	200～299人	300人～	
1	9	2	3	
0.5%	4.2%	0.9%	1.4%	

新商品

長崎さくマツ

ダスキン栄進

TEL 823-7633

瀧川 隆 会員（長崎出島支部）

広告募集

＜4cm×9cm＞

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

会員活躍

長崎新聞 5月11日 諫早支部 瀬頭 信介 会員

長崎新聞 5月30日 五島支部 中本 茂 会員

諫早産山田錦の新酒完成

杵の川「黎明」、市長に報告



宮本市長（中央）に新酒完成を報告した瀬頭社長（右から2人目）ら
— 諫早市役所

諫早市で生産された高級酒米「山田錦」を100%使った日本酒「純米大吟醸黎明」純米吟醸黎明が完成し、同市土師野尾町の酒造会社「杵の川」の瀬頭信介社長が9日、宮本明雄市長に報告した。山田錦による酒造りは3年目となり、収量が初年度より3倍増え、酒の製造量も安定してきたという。

市は2014年度からコメの選別に使う網や種子代などを補助し、生産者グループ「酒米栽培研究会（16人）」が高来、小長井両町などの約4・2haで山田錦を栽培。16年度は約1tを収穫した。

し、杵の川がほぼ全量を買収した。杵の川では2月から仕込みに入り、約40日かけて純米大吟醸約700本（1・8リットル）換算、純米吟醸約2500本（同）を完成させた。価格は純米大吟醸1・8リットルが3500円（税別）、同720リットルが1750円（同）、吟醸1・8リットルが3千円（同）、720リットルが1500円（同）。諫早、長崎両市などの酒店で販売する。

試験した宮本市長は「フルーティな香り」と話し、市は本年度も山田錦の産地化に向けた支援を続ける方針。（高比良由紀）

中本製麺

五島にうどん工場



新工場の上棟式であった餅まきで盛り上がる民衆ら
— 五島市

夏ごろ完成 飲食店など併設

五島うどんの製造・販売を手掛ける中本製麺（新上五島町）が五島市吉久木町に新工場を建設している。夏ごろ完成予定で、稼働後は工場内部の見学を受け入れるほか、うどんや特産物の飲食・販売店も併設。28日は上棟式で餅まきがあり、多くの人で盛り上がった。

五島うどんは新上五島町の特産として知られるが、都市部などの島外では上五島の区別を認識されていないことも少なくない。同社は下五島の五島市内の小売業者との付き合いも長く、列島全体でうどんをさらに盛り上げようと今回の工場新設を決めた。

規模は延べ床面積で工場が約450平方メートル、飲食・販売店が約340平方メートル。大型バスも止められる駐車場を備え、修学旅行や団体ツアーも積極的に呼び込むという。新たに14人を雇用し、従業員は現在の2倍となる見込み。完成後は上、下五島で年間計約190t（乾麺）の製造を目指す。

上棟式には家族連れなど約300人が来場。木造の骨組みの周りを囲み、関係者から餅や菓子がまかれると、傘を逆さにして構えたり手を上げて求めたりして歓声が飛び交った。

同社の中本茂社長（63）は「五島は一つという強い思いでうどんを全国にPRしたい」と意気込む。（石田慶介）

復会会員の皆さんです＜5月復会＞

（敬称略）

＜復 会＞

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	つじむら たかし 辻村 崇			
企 業 名	(株)オオクラ			
役 職 名	専務取締役			
企 業 住 所	〒851-2106 西彼杵郡時津町左底郷1-6			
T E L	095-882-5511	F A X	095-882-6113	
業 種	新建材卸・販売			
企 業 P R	アイカ工業(株)の長崎総合代理店として、主に化粧板・キッチンパネル・新建材一式を取り扱っています。また、(株)理研テクノシステムが開発した FTS 技術/テラヘルツテクノロジー（環境や健康に有効な赤外線を放射する機能材料を製造する技術）をもとに製品化事業を行っています。皆様どうぞよろしくお願いいたします。			
スポンサー	辻村 栄蔵			



事務局企業訪問

長崎浦上支部 仲間づくり委員長としてご活躍中の
山崎 功さんに密着取材させていただきました。



＜アクアリウムとは？＞

水の音、光と揺らぎで疲れた心身を心底癒してくれるアクアリウム。見るだけで優しい気分になれるアクアリウムの癒し効果は人間が持つ自然治癒力を高めるそうです。

山崎さんはアクアリウムをアートなセラピーと考えています。設置場所を幻想的で魅惑的な空間に演出する為、生け花の技術を取り入れた、フランチャイズ本部の認定資格「水景デザイナー」を取得し、お客様のお好みや雰囲気に合わせたレイアウトを演出されています。

水槽が汚れない様に原則週に1回のメンテナンスが基本で、それも約1時間で常に安全で綺麗な水景を維持されているそうです。また、お客様やその場を利用される方々との良好な信頼関係を築き上げるためにも頻繁に足を運ぶことが大切と強調されました。

開業当初は、飛び込み営業の毎日だったそうですが、2年が過ぎた今では、1日平均5ヶ所のメンテナンスをされています。設置されている水槽を見てそのすばらしさに感動し、設置を決められた方もいらっしゃるそうです。

＜取組むきっかけ＞

ストレス社会と言われる現在に必要とされる仕事は何かを追及した結果、山崎さんはアクアリウムに辿り着きました。人に感動と癒しを与えセラピー効果も認められるレンタルアクアリウムは本当に天職と言えます。「小さい頃から水生生物が大好きだったから」と本当に目を輝かせながら答えて下さったのがたいへん印象的でした。

＜同友会との関わり＞

高校の同級生の西村専務理事から青年経営者会の例



会に誘われたのが同友会との最初の出逢いです。当時、半年間は会費無料の「体験入会制度」があり、青年経営者会のメンバーとの絆を強くされた後2008年2月に入会されました。当時は家業の取締役でしたが、独立を決意し、その準備のため一度退会。現在の事業が落ち着いたこともあり、2015年6月に復会されました。

今期、支部仲間づくり委員長を「はいかいエス」の同友会流の回答で引き受けられ、たいへんご活躍されているのは皆さんがご存知の通りです。

＜これから＞

来年3月には一人で取組む限界と言われている35ヶ所、3年後には法人化し社員2名の雇用で100ヶ所の水槽設置を目指されている山崎さん。「そのために、試行錯誤しながらも観賞魚と水草の育成法、水槽のメンテナンス法の研究を重ねています。」と力強く決意を語って下さりました。

メンテナンスをしながらというたいへんな中インタビューに快く応じて下さった山崎さん、本当にありがとうございました。今後の事業発展と同友会でのご活躍を祈念致します。

また、今回、長崎浦上支部の池本さんの事務所の水槽のメンテナンスに立ち合わせていただきました。池本さんありがとうございました。

＜企業概要＞

レンタルアクアリウム長崎

熱帯魚を中心とした観賞魚のレンタル・メンテナンス
〒852-8116 長崎市平和町8-2

TEL 095-894-4857 FAX 095-894-4859

(文責 事務局 山田 幸司)

7月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 7月18日(火) 18:30～21:00
会 場 長崎新聞文化ホール アストピア
テ — マ 調整中
報 告 者 (株)長崎地研 代表取締役社長
村山 隆之 会員(佐世保支部)

●長崎出島支部

日 時 7月26日(水) 18:00～20:30
会 場 サンプリエール
テ — マ 「障がい者の新しい働き方・関わり方」
報 告 者 (同)虹いろのたね アトリエらぼ 代表社員
竹山 清美 会員

障害者就労支援施設で就労支援員として障害者雇用に関わる中で、一般就労が難しい障害者の方の働き方を模索し、4年前に就労継続支援B型事業所を開設。ご利用者ひとりひとりの特性やペースに合った仕事を提供できるようにさまざまなことにチャレンジされています。アトリエらぼの活動をご紹介いただきながら、障害者雇用はハードルが高いと感じている企業様に少しでも障害者施設を身近に感じていただき、障害者の方の働き方を一緒に考えるきっかけとなるような報告をしていただきます。

●大村支部

日 時 7月20日(木) 18:30～21:30
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ — マ 官×民×創×論(カンミンソウロン)2017
「大村の未来は私達の手の中に」
報 告 者 大村市長 園田 裕史 氏
大村市産業支援センター長 若杉 誠司 氏

■20XX年…大村市の将来像は！？ ■大村市産業支援センターいよいよ始動！
園田大村市長と若杉大村市産業支援センター長を招聘し、全体3部構成にて企画する。
●第1部 大村市産業支援センターの役割について(市長・センター長) ●第2部 市長・センター長に同友会より時政策委員長を加え3名による座談形式にて大村の経済活性化について論じ合う。 ●第3部 グループディスカッション

●諫早支部

日 時 7月19日(水) 18:30～21:00
会 場 四季の蔵 食楽亭
テ — マ 『ダイバーシティって何??』
～ダイバーシティ委員長が説明をします～
報 告 者 (有)菅原産業 取締役
菅原 千代枝 会員(長崎出島支部)

障がい者雇用をきっかけに出会った同友会、そこから学んだこと、なぜ、今、ダイバーシティなのか？女性部・障がい者問題担当委員会から、ダイバーシティ委員会になった経緯。ダイバーシティ委員会への歩み。これからのダイバーシティ委員会としてできること。ダイバーシティに対する熱い思いを伝えます！！

●島原支部

日 時 7月27日(木) 18:30～21:15
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ — マ 「創業70年、我が社の歴史を振り返る」
～世の中の変化に負けない企業をめざして～
報 告 者 (資)南陽商会 専務取締役
三田 茂樹 会員

終戦直後の昭和22年に創業、日本国憲法が施工され新しい日本として歩みだした年から70年、激動の時代を歩んできました。好景気の時もあれば、不景気の時もあった、そんな中でも時代のニーズに合った商品を提供し続けて、今日までやってきました。会社をこれからも続けていく為の、経営者としての視点、姿勢を紹介していただきます。皆様、お誘い合わせの上、是非ともお越し下さいませ。

●佐世保支部

日 時 7月21日(金) 18:30～21:00
会 場 アルカス佐世保 3F 大会議室
テ — マ 1ターン司法書士の挑戦!!
～愛する地元を働きやすく・住みやすく～
報 告 者 司法書士くらしな事務所 代表者
倉科 聡一郎 会員

神奈川県横浜市の出身の倉科会員は、東京の司法書士事務所に勤務していましたが、約7年前に一念発起し、波佐見町へ1ターンで移住独立!!自分自身の事務所を開業しました。東京での勤務していた時の視点と、こちらでの事務所経営している視点を常に合わせ持つ『1ターン司法書士』だからこそ、地元を愛する皆様と違った視点で、この地域の素晴らしさを発見し、より良い経営環境を作るお手伝いが出来るのでは?と倉科会員は考えています。

倉科会員よりコメント

経営をしていると、何かあってもどこに頼んでよいか解らないこと等多くあると思います。そんな中で、司法書士の役割や業務等について報告を通じて理解を深めていただければ幸いです。

●北松浦支部

日 時 7月18日(火) 18:30～20:30
会 場 平戸市多目的研修センター2階
テ — マ 平戸班起業活性化
～in 南部 18:30 だよ全員集合～
報 告 者 長崎県よろず支援拠点
代表者 團野 龍一 氏
中小企業診断士 松村 秀史 氏

地域を活性化して、次世代に経営をつないでいくノウハウなどを、専門家に詳しく説明していただきます!!

●五島支部

日 時 7月19日(水) 18:30～21:00
会 場 福江総合福祉保健センター
テ — マ 尊敬し、信頼できる人が一人、またひとり
～仲間づくりは、感謝のシェア～
報 告 者 (株)広告のアクセス 代表取締役
山領 進 会員(佐世保支部)

会員数25名(5/25現在)の五島支部において、会員増強は大きな課題…会員を増やすために我々会員はどうあるべきなのか。元県仲間づくり委員長の山領さんより「仲間づくり」についての想いを大いにご報告いただきます。当日は西山仲間づくり委員長もご出席予定です。会員増に向け皆で学び、語り合いましょう!!多くのご参加お待ちしております。

●青年経営者会

日 時 7月25日(火)
会 場 未定
内 容 未定

7月理事会 議事録 抜粋

6月1日(木) つくば倶楽部 出席18名 欠席5名

開会挨拶－松尾代表理事

中同協役員研修会お疲れ様でした。たいへん勉強になりましたね。本当に同友会が好きな方ばかりです。来週は条例・憲章キックオフ集会に参加して参ります。楽しく、実践しながら仲間を増やしていきましょう。

仲間づくりについて

1)入会9名・復会1名・交代1名・退会7名を承認

2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について
西山仲間づくり委員長総括－各支部例会にキャラバン参加しています。今期も3クール(7～9月、10～12月、1～3月の理事会承認ベース)で表彰を行います。役員研修会での学びを生かし、仲間づくりにご尽力いただきます様お願いします。

松尾代表理事－大村支部、北松浦支部 期首を割り込むとは言語道断。支部長、仲間づくり委員長を中心に、各支部、確実に毎月の目標をクリアするために何をなすべきかわかっていると思いますので、取組みよろしくをお願いします。

協議・承認事項

1)第46回定時総会の振り返り

・収支を承認

2)第24回経営フォーラムについて

(これまでの決議事項)

①日程：10/13(金)

②会場：長崎ロイヤルチェスターホテル

③記念講演講師：神奈川同友会

(株)湯佐和 代表取締役 湯澤 剛 氏

④分科会テーマ・報告者

「ダイバーシティ」長崎出島支部 伊藤 弘和 会員

「経営指針」佐世保支部 橋口 久 会員

「共育」長崎浦上支部 古里 久則 会員

・「企画案」「予算案」(参加費一律5,000円)を承認

・岩実行委員長より企画案、山口善也副実行委員長(総務 財務部長)より予算案について説明有。

テーマ『「覚悟！」～自分への覚悟！未来への覚悟！あきらめない覚悟！～』決定理由について岩実行委員長より「実行委員会で、よりよき経営環境づくりにおいて、何事にも経営者の覚悟が問われているという結論に至りました。その覚悟を学ぶために

も湯澤さんにお出でいただくことにしました。』

3)2017年度役員研修会について

(前回の決定事項)日時：9月9日(土)

(今回提案事項)

第1部 研修会 13:30～17:20

第2部 懇親会 17:30～

会場：長崎新聞文化ホールアストピア

(三役会案)

中同協定時総会に倣い、理念と歴史を松尾代表、企業内実践事例を横田支部長、座長を山領会員。また参加する対象の会員のことを鑑み、「役員研修会」という名称の変更も検討していく

三役会からの提案事項(内容案・会場)を承認、次月会費と名称の協議を行う 以上承認

4)情報広報委員会からの提案について

・個人情報保護方針の改訂案について承認

・講演者同意書について、今月の会外報告者から対応。担当者が確実に内容を確認し、原本は事務局保管

5)慶弔規定(家族死亡弔慰金)について

・支部に5,000円追加負担(よって今後は1万円)していただき20,000円の供花とすることを承認

6)同友会領収証のあり方について

・支部分も含め会計処理のあり方を継続審議とすることを承認

7)第49回中小企業問題全国研究集会について

・2月21・22日(木・金)として中同協へ提案することを承認(ランタンフェスティバル後)

報告・連絡事項

1)5月県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

【経営労働委員長】

これまでの一泊二日のセミナーではじっくり取り組めないという声があり、また、中同協から「実践の手引き」が発行されたこともあり、今期は1年(7回)のセミナーを企画しました。定員は15名、先着順です。

【政策委員長】

景況調査の回答にご協力いただきありがとうございます。今回、初めて各支部総会時にご協力いただいた結果回答数213、回答率35%という高回答をいただきました。ぜひ、e.doyu「掲示板」特に支部別データをご覧ください。

(峰事務局次長)あくまで簡易分析で、回答範囲内の結果とご理解ください。業種・課題・景況感等々支部別のデータをぜひ例会づくり、企業づくりにお役立ていただければ幸いです。広報誌をぜひご覧ください。各支部の回答率アップにぜひご協力願います。

【情報広報委員長】

今月27日「中小企業のための反社会的勢力排除研修」をこつくば倶楽部で開催しますので、ぜひご参加の程よろしくお願い致します。

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)

各支部の例会内容・出席率・返信率について山口委員長からのヒアリングがありました。

3)中同協 主要行事の紹介

5月25・26日(木・金)

中同協役員研修会兼九州・沖縄ブロック支部長・支部役員研修交流会／大村37名

浦上7、出島5、大村11、諫早2、島原2

佐世保5、北松浦2、事務局3

7月6・7日(木・金)

第49回 定時総会／愛知 現在11名

報告：松尾代表理事・横田島原支部長

座長：山領元仲間づくり委員長

9月14・15日(木・金)

第45回 青年経営者全国交流会／茨城

2月8・9日(木・金)

第48回 中小企業問題全国研究集会／兵庫／長崎全研キャラバン開始

4)中同協第29回役員研修会参加報告

(広報誌をご覧ください)

5)純心大学との包括連携協定について

6月2日(金)9:30～純心大学において調印式を行います。

松尾代表理事－中村出島支部長のご尽力に感謝します。共同求人活動等を始め地域活性化の進展に生かしましょう。

長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会が開催されます!!

2019年2月(予定)開催まで

あと

20

ヶ月!!

会員消息

●企業住所等変更

岩崎 誠一 会員 (長崎出島支部)

新住所：〒852-8117 長崎市平野町3-3 ホテルアネックス3 2F

新TEL番号：095-843-8811 新FAX番号：095-843-8801

井戸 博昭 会員 (北松浦支部)

新住所：〒859-4752 松浦市御厨町里免 85-1

退会者 (敬称略)

会 員 数 (6月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	135	115	100	90	75	150	55	35	755
期首	110	87	79	72	61	124	44	25	602
現在	109	86	77	71	61	124	42	25	595

会 員 名	会 社 名	支部名	入会年月
浦 川 公巳好	安達ビル	長 崎 出 島	2014年12月
彭 輝	(有)アスピレーション	長 崎 出 島	2012年 8月
原 陽 子	(株)野岳セカンドライフ支援センター	大 村	2014年11月
山 口 佳 彦	(株)富建	大 村	2006年 3月
柴 崎 達 泰	(株)EB TEC	島 原	2016年 1月
藤 井 達 磨	藤井産業(株)	佐 世 保	2011年11月
大 石 久 志	大石水産	北 松 浦	2014年12月